平成２６年6月１３日

長 崎 県 立 大 学		
学　部	経済学部	国際情報学部 看護栄養学部
担当課	佐 世 保 校 学生支援課	シーボルト校 学生支援課
電　話	0956-47-5703	095-813-5065
担当者	平川、吉田	松本、岡村

長崎県立大学の平成２７年度入学者選抜について

長崎県立大学の平成２７年度入学者選抜について、経済学部、国際情報学部、看護栄養学部すべての区分の入学者選抜方法等公表しましたので、お知らせします。

詳細につきましては、別添平成２７年度入学者選抜要項をご参照ください。

問い合わせ先

経済学部
〒858-8580　佐世保市川下町１２３
学生支援課学生グループ
電話　０９５６－４７－５７０３（直通）
国際情報学部、看護栄養学部
〒851-2195　西彼杵郡長与町まなび野１－１－１
学生支援課学生グループ
電話　０９５－８１３－５０６５（直通）

平成２７年度

入 学 者 選 抜 要 項

長崎県立大学
UNIVERSITY OF NAGASAKI

入学者選抜に関する問い合わせ先

長崎県立大学　学生支援課　学生グループ

【経済学部】佐世保校

〒８５８－８５８０
長崎県佐世保市川下町１２３番地
電話番号　　０９５６－４７－５７０３
ＦＡＸ　　０９５６－４７－４６１６
受付時間　　９：００～１７：００（土・日・祝日を除く）

【国際情報学部・看護栄養学部】シーボルト校

〒８５１－２１９５
長崎県西彼杵郡長与町まなび野１丁目１番１
電話番号　　０９５－８１３－５０６５
ＦＡＸ　　０９５－８１３－５２２２
受付時間　　９：００～１７：００（土・日・祝日を除く）

◆長崎県立大学の理念と教育目標

長崎県立大学は、「人間を尊重し平和を希求する精神を備えた創造性豊かな人材の育成」、「長崎に根ざした新たな知の創造」、「大学の総合力に基づく地域社会及び国際社会への貢献」を基本理念として掲げています。

このため、人間を尊重し世界の平和を希求する精神を基本に、深い洞察力と実践力を備えた感性豊かな人材を育成します。また、理論と実践を融合した高度な教育研究を推進するとともに、長崎の地理的・歴史的・文化的特性を踏まえた新たな知の創造を目指します。

さらに、社会における諸問題に大きな関心をもち、地域社会および国際社会に貢献できる人材を育成します。

◆学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

長崎県立大学は、上記の大学理念と教育目標を意欲的に実現する次のような学生を求めています。

●人や自然を尊重できる人

●何事にも好奇心をもち、積極的に挑戦したいと考えている人

●目的をもって、忍耐強く努力したいと思っている人

●長崎の歴史・文化や地域的特性に関心をもっている人

●地域社会や国際社会に貢献したいと考えている人

◆経済学部

【教育目標】

経済学部では、専門的、総合的視野から社会、市民生活、企業での諸問題を理解し、分析し、解決する応用能力に富む人材、国際的なコミュニケーション能力と視野を備えグローバルに活躍できる人材の育成を目指します。

【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】

経済学部では、上記の教育目標を実現する意欲ある学生を求めています。本学部が求める学生像は以下のとおりです。

●経済、社会及び企業の問題に関して旺盛な知的好奇心を持ち、新しい課題に積極的に取り組もうとする人
●専門的知識を習得し、地域社会や国際社会の中で貢献しようとする意欲を有する人
●コミュニケーション能力、表現能力を備え、創造性豊かで柔軟な思考ができる人

経　済　学　科	**【教育目標】** 経済学科では、激動し多様化する現代社会の諸問題やニーズに的確に対応できる、理解力と応用能力に優れた実践的ビジネスパーソンの育成、経済社会に対する的確な理解力と幅広い教養を備えた人材の育成を教育目標としています。 **【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】** 経済学科では、上記の教育目標を実現する意欲ある学生を求めています。本学科が求める学生像は以下のとおりです。 ●経済・社会及び企業の問題に興味・関心のある人 ●地域社会や国際社会の中で貢献しようとする意欲を有する人 ●経済学の実践的応用能力や立案能力を要する職種で活躍しようとする人 ●商社や様々な業種の海外事業部門等においてグローバルな経済活動を目指す人
地 域 政 策 学 科	**【教育目標】** 地域政策学科では、急激に変貌する地域社会における産業・福祉・行政・文化等の発展に積極的に貢献できる人材の育成、社会に活力をもたらしリーダーシップを発揮しうる人材の育成、国際的な感覚と知見に立って、東アジアを中心とした広範な国際交流に寄与できる人材の育成を教育目標としています。 **【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】** 地域政策学科では、上記の教育目標を実現する意欲ある学生を求めています。本学科が求める学生像は以下のとおりです。 ●異なる考え方や文化を尊重する人 ●地域社会への夢や目的を持ち、その実現に向けて努力しようとする人 ●地域の諸問題についての豊富な素養を活かして、地域社会のさまざまな場で活躍したり、外国語を活かして、国際的な企業や組織で活躍しようとする人 ●実践的な政策立案能力を活かして、地方自治体やその他政府機関等の公務員や、国際的に活動する組織・団体等で活躍しようとする人
流 通 ・ 経 営 学 科	**【教育目標】** 流通・経営学科では、産業構造の高度化、複雑化、グローバル化などの構造変化と情報化の進展が著しい現在、企業活動の流通、情報、会計の分野に関する多角的な分析能力と情報活用能力を備え、社会の第一線で活躍できる行動力に富む人材の育成を教育の目標としています。 **【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】** 流通・経営学科では、上記の教育目標を実現する意欲ある学生を求めています。本学科が求める学生像は以下のとおりです。 ●流通・マーケティングや経営管理などの専門知識を活かし、企業や自治体などの組織で活躍しようとする人 ●流通・情報・会計の専門知識を活かして、社会のなかで自立しようという意欲のある人 ●情報技術の利用及び活用能力を身につけ、地域社会、国際社会のなかで活躍しようとする人

経　済　学　科 地 域 政 策 学 科 流 通 ・ 経 営 学 科	**【入学者選抜の基本方針】** 　経済学部では、一般入試（前期日程、後期日程）のほか、特別選抜（推薦入試など）を実施し、複数の入学者選抜方式によって多様な人材を受け入れることを目指しています。 **●一般入試（前期日程）** 　基礎学力の把握のため、大学入試センター試験（３教科３科目、４科目又は５科目の利用で、国語、数学、外国語から２教科必須）を課すとともに、個別学力検査等（小論文）では高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、考察力、論理的思考力及び記述力を評価します。 **●一般入試（後期日程）** 　基礎学力の把握のため、大学入試センター試験（３教科３科目、４科目又は５科目の利用で、国語、数学、外国語から２教科必須）を課します。 　後期Ａコース（小論文）では、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、考察力、論理的思考力及び記述力を評価します。 　後期Ｂコース（英語）では、高等学校で得た基礎学力を前提に、英語の読解力、表現力、大意把握力など総合的な能力を評価します。 　後期Ｃコース（数学）では、高等学校で習得される程度の数学の基礎を理解し、応用する力を計ります。 **●推薦入試（「離島高校」区分）** 　調査書等の出願書類で志望理由、学習意欲、将来の展望、高等学校時の活動実績等を評価します。 　また、面接では本学進学の目的意識、学習意欲、高等学校時の活動実績等を評価します。 **●推薦入試（アカウンティングプログラム枠）** 　小論文で設問に対する理解力、分析力、論理的思考力、読解力などの能力を評価します。また、面接では目的意識、学習意欲、学科が提供する専門分野に対する適性などを評価します。 **●推薦入試** 　小論文で課題に対する理解力、考察力、論理的思考力及び記述力等を評価します。また、面接では調査書等の出願書類を参考に、本学進学の目的意識、学習意欲、社会経済への関心度などを評価します。 **●帰国子女入試** 　小論文で課題に対する理解力、考察力、論理的思考力及び記述力等を評価します。また、面接では本学進学の目的意識、学習意欲、学科が提供する専門分野に対する適性などを評価します。 **●社会人入試** 　小論文で課題に対する理解力、考察力、論理的思考力及び記述力等を評価します。また、面接では調査書等の出願書類を参考に、本学進学の目的意識、学習意欲、将来の展望、学科が提供する専門分野に対する適性などを評価します。 **●私費外国人留学生入試** 　小論文で課題に対する理解力、考察力、論理的思考力及び記述力等を評価します。また、面接では日本語能力を評価するとともに、出願書類を参考に、本学進学の目的意識、学習意欲、高等学校等での活動実績、学科が提供する専門分野に対する適性などを評価します。

◆国際情報学部

【教育目標】

国際情報学部では、２１世紀社会の国際化・情報化に貢献できる人材の育成を目指しています。このため、「自国と外国の歴史・文化に関する充分な知識と、実践的な外国語運用能力を有し、国際的に活躍できる人材の育成」「国際社会が抱える諸問題を考察・分析する能力を身につけた、国際感覚あふれる人材の育成」「最先端の情報技術に関する充分な知識を有し、情報技術者として活躍できる人材の育成」「情報技術が社会・文化に与える影響について幅広い見識を持ち、社会の多様な分野で情報化を推進できる人材の育成」を教育目標としています。

【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】

国際情報学部では、上記の教育目標を実現する意欲ある学生を求めています。本学部が求める学生像は以下のとおりです。

●国際社会に大きな関心があり、語学力の修得に意欲のある人
●地域社会の諸問題を国際的な視野から分析・解決していく意欲にあふれた人
●情報技術に関する興味・関心が強く、論理的な思考能力に優れた人
●新聞・映像などの様々なメディアに関心が強く、社会の出来事について自らの考えを論理的に展開できる人

国際交流学科	**【教育目標】** 国際交流学科では、今日の国際的諸問題を深く考えることによって、国際社会の総合的理解と実践的思考力を育成します。また、長崎を基点とした日本文化の理解と、それに立脚した諸外国の歴史・文化の探求を行い、合わせて異文化コミュニケーション能力の育成を図ります。これにより、２１世紀の国際社会に対応できる人材の育成を目指します。 この目標を実現するために国際交流センターの支援を受け、英語、中国語、韓国語によるコミュニケーション能力の向上を図ります。 ２年次から「国際関係」「文化コミュニケーション」の２つのコースに分かれますが、「国際関係コース」では、国際政治、国際経済などの社会科学系科目の修得を通して、国際社会の抱える諸問題を総合的に考察・分析する能力を養い、国際社会で有用な人材の育成を目指します。「文化コミュニケーションコース」では学際的専門教育と幅広い教養教育を行うことによって、長崎をはじめとする日本の文化・歴史・社会の理解を深めるとともに、諸外国の歴史・文化・社会・言語を比較・分析し、それを地域や国際社会で活用できる人材の育成を目指します。 **【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】** 国際交流学科では、上記の教育目標を実現する意欲ある学生を求めています。本学科が求める学生像は以下のとおりです。 ●国際社会に関心を持ち、実践的な外国語運用能力を高めて国際コミュニケーション能力を修得し、その能力を国際社会に活かそうとする人 ●地域社会を国際的な視野から考察し、地域の抱える諸問題を分析し、国際化社会における地域社会の担う課題に意欲的に取り組む人 ●グローバルな視野に立った歴史・異文化理解に求められる、国内外の社会情勢・歴史・地理に対する強い好奇心と学習意欲をもって、課題に取り組む人 **【入学者選抜の基本方針】** 国際交流学科では、一般入試（前期日程、後期日程）のほか、特別選抜（推薦入試など）、アドミッション・オフィス入試を実施し、複数の入学者選抜方式によって多様な人材を受け入れることを目指しています。 ●一般入試（前期日程、後期日程） 基礎学力の把握のため、大学入試センター試験（４教科４科目又は５科目）を課すとともに、個別学力検査で、高等学校で得た基礎学力（特に、英語、国語の理解力）を前提に、提示した素材により、読解力、思考力、表現力等をみます。 ●アドミッション・オフィス入試（ＡＯ入試） 第１次選考では、出願書類に基づき、出願資格・要件を満たしているか、学科が求める学生像に合致しているか、学科を志望する理由が明確であるか、入学後の学習意欲や将来の展望が的確に示されているか、などの観点から評価します。

	第２次選考では、小論文で課題に対する理解力、分析力、思考力、読解力などの能力をみて、面接で出願書類を参考に、目的意識、学習意欲、学科が提供する専門分野に対する適性などを評価します。 ●推薦入試 小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、提示した素材により、読解力、思考力、表現力等を評価します。 面接で、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、勉学意欲、基礎知識、本学科が提供する専門領域に対する適性などを総合的に評価します。 ●帰国子女入試 小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、提示した素材により、読解力、思考力、表現力等を評価します。 面接で、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、勉学意欲、基礎知識、本学科が提供する専門領域に対する適性などを総合的に評価します。 ●社会人入試 小論文で、高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、提示した素材により、読解力、思考力、表現力等を評価します。 面接で、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、勉学意欲、基礎知識、本学科が提供する専門領域に対する適性などを総合的に評価します。 ●私費外国人留学生入試 小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、提示した素材により、読解力、思考力、表現力等を評価します。 面接で、志望理由書等の出願書類を参考に、志望動機、勉学意欲、基礎知識、本学科が提供する専門領域に対する適性などを総合的に評価します。
情報メディア学科	**【教育目標】** 情報メディア学科では、高度情報化社会で活躍できる人材として情報・メディア・社会をトータルに考える情報のエキスパートを育成するために、「高度情報化社会で重要となる情報技術について、基礎から応用までの幅広い修得を図り、情報技術者として活躍できる人材の育成」、「健全なくらしと豊かな社会を実現するために情報技術が社会・文化に与える影響について幅広い知識を養い、多様な領域で情報のエキスパートとして活躍できる人材の育成」、「情報メディア関連の学際的教育を体系的に進めることにより、高度情報化社会にふさわしい専門的研究者の育成」を目指しています。 **【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】** 情報メディア学科では、上記の教育目標を実現する意欲ある学生を求めています。本学科が求める学生像は以下のとおりです。 ●情報メディア関連機器や情報ネットワークに興味や関心が強く、プログラミングやシステム構築などにより問題解決を図ろうとする意欲を持つ人 ●情報メディア機器を活用して、個人やチームでコンテンツを制作する知識と感性を高めたい人 ●新聞や雑誌、書籍、映像など様々なメディアに関心があり、内容や現象に関して自らの考えを論理的に展開できる人 **【入学者選抜の基本方針】** 情報メディア学科では、一般入試（前期日程、後期日程）のほか、特別選抜（推薦入試など）、アドミッション・オフィス入試を実施し、複数の入学者選抜方式によって多様な人材を受け入れることを目指しています。 ●一般入試（前期日程、後期日程） 大学入試センター試験と個別学力検査で評価します。大学入試センター試験では基礎学力の把握のために５教科６科目又は７科目を課しています。個別学力検査では、コミュニケーション能力、論理的思考力、読解力などの把握のために、英語、数学、国語を課しています。 ●アドミッション・オフィス入試（ＡＯ入試） 第１次選考では、出願書類に基づき、出願資格・要件を満たしているか、学科が求める学生像に合致しているか、学科を志望する理由が明確であるか、入学後の学習意欲や将来の展望が的確に示されているかなどの観点から評価します。 第２次選考では、小論文で高等学校の一般的学習を前提に、現代社会の時事的諸問題についての理解力、論理的思考力、論述能力を評価します。面接では出願書類を参考に、目的意識、学習意欲、学科が提供する専門分野に対する適性などを評価します。

	●推薦入試 　小論文で、高等学校の一般的学習を前提に、現代社会の時事的諸問題についての理解力、論理的思考力、論述能力を評価します。 　面接で、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、勉学意欲、基礎知識、表現力、本学科が提供する専門領域に対する適性などを総合的に評価します。 ●帰国子女入試 　小論文で、高等学校の一般的学習を前提に、現代社会の時事的諸問題についての理解力、論理的思考能力、論述能力を評価します。 　面接で、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、勉学意欲、基礎知識、会話的表現力、本学科が提供する専門領域に対する適性などを総合的に評価します。 ●社会人入試 　小論文で、高等学校の一般的学習を前提に、現代社会の時事的諸問題についての理解力、論理的思考能力、論述能力を評価します。 　面接で、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、勉学意欲、基礎知識、会話的表現力、本学科が提供する専門領域に対する適性などを総合的に評価します。 ●私費外国人留学生入試 　本学科が示す資格・要件をすべて満たしていることを条件に、面接で、志望理由書等の出願書類を参考に、志望動機、勉学意欲、基礎知識、日本語による会話的表現力、本学科が提供する専門領域に対する適性などを総合的に評価します。

◆看護栄養学部

【教育目標】

看護学科と栄養健康学科の学生は、単にその領域の科目を学習するだけでなく、国家試験を経て人々の健康に直接関わる職業に就くことを社会から期待されています。その基本は、憲法 25 条にしめされているように国民が健康で文化的な生活を営むことができるよう、社会的使命を実践することにあります。本学部では、豊富な科学的専門的知識を習得するとともに大学生として幅広く学び、あらゆる年齢層のさまざまな健康状態の人々と接することができる豊かな人間性を育成することを教育目標としています。

【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】

看護栄養学部では、上記の教育目標を実現する意欲ある学生を求めています。本学部が求める学生像は以下のとおりです。

●いのちの尊さを理解し、まじめに努力する人
●人に対する思いやりを持ち、人の苦しみを共有できる人
●科学を重視し、適確に物事を行える人
●社会制度の変化に敏感かつ適正に対応できる人
●協調性があり、他の職種の人々とチーム医療のできる人

看　護　学　科	**【教育目標】** 看護学科では、生命の尊厳と人権の尊重を基本とし、生活する人々の健康問題の解決と生活の質の向上に向けて保健・医療・福祉を統合した看護ができる看護職、国際的視野をもち、専門職として看護の発展に自律的・創造的に貢献できる看護職の育成を目指しています。 そのため、「看護の対象である人間を理解し、生命の尊厳にもとづいた支援ができる能力」、「人々の健康状態を的確にとらえ、生活の質の向上を目指した看護ができる能力」、「保健・医療・福祉などの他の専門職の人々と連携しながら、看護の専門性を発揮した活動ができる能力」、「広い視野に立って考え、生涯に渡って学習を継続していくための基礎的な能力」を養うことを教育目標としています。 **【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】** 看護学科では、上記の教育目標を実現する意欲ある学生を求めています。本学科が求める学生像は以下のとおりです。 ●いのちを大切に思う心と人間を深く理解する姿勢を持っている人 ●疑問を持ち、自分から問題に取り組む意欲を持っている人 ●ものごとを科学的に追究し、計画的に実践・行動できる人 ●人間の多様性を認め、柔軟かつ建設的に考えて行動できる人 ●人々との共同作業において協調性があり、率先して活動できる人 **【入学者選抜の基本方針】** 看護学科では、一般入試（前期日程、後期日程）、特別選抜（推薦入試など）を実施し、複数の入学者選抜方式によって多様な人材を受け入れることを目指しています。 ●一般入試（前期日程、後期日程） 基礎学力の把握のため、大学入試センター試験（５教科６科目又は７科目）を課すとともに、小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、提示した素材により、読解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 面接で、調査書等の出願書類を参考に、学習意欲、理解力、表現力、社会性等、本学科が提供する専門領域に対する適性などを総合的に評価します。 ●推薦入試 小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、提示した素材により、読解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 面接で、志望理由書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、理解力、表現力、社会性等、本学科が提供する専門領域に対する適性などを総合的に評価します。 ●推薦入試（離島看護師特別枠） 基礎学力の把握のため、大学入試センター試験（５教科６科目又は７科目）を課すとともに、面接で、志望理由書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、理解力、表現力、社会性等、本学科が提供する専門領域に対する適性などを総合的に評価します。

	●帰国子女入試 　小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、提示した素材により、読解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 　面接で、志望理由書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、理解力、表現力、社会性等、本学科が提供する専門領域に対する適性などを総合的に評価します。 ●社会人入試 　小論文で、高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、提示した素材により、読解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 　面接で、志望理由書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、理解力、表現力、社会性等、本学科が提供する専門領域に対する適性などを総合的に評価します。 ●私費外国人留学生入試 　面接で、志望理由書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、理解力、表現力、社会性、日本語による会話的表現力等、本学科が提供する専門領域に対する適性などを総合的に評価します。
栄養健康学科	**【教育目標】** 　生命科学に立脚した「食と健康」に関する専門的知識や技能を保持した、健康社会実現のために社会の幅広い分野で貢献できる管理栄養士を育成します。特に、「地域の人々の健康と福祉の向上に貢献できる問題解決能力を持った人材」、「人々の健康維持・増進と疾病の予防・回復に貢献できる栄養マネジメント・アセスメント能力を持った人材」、「食品開発、食糧資源の有効利用、食品衛生管理などの分野で活躍できる人材」や「次世代社会を拓く子供たちの食育を担う人材」育成等を教育目標としています。 **【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】** 　栄養健康学科では、上記の教育目標を実現する意欲ある学生を求めています。本学科が求める学生像は以下のとおりです。 ●身近な「食と健康」を通して健康・福祉社会の創出に貢献したい人 ●保健・医療・健康分野や県や市町村などの管理栄養士を志す人 ●食品開発、食品の安全性や機能性などに興味を持っている人 ●子供たちの食育を通して健康生活づくりに寄与したい人 ●生命科学に根ざした「食と健康」を科学するスペシャリストになりたい人 **【入学者選抜の基本方針】** 　栄養健康学科では、一般入試（前期日程、後期日程）のほか、特別選抜（推薦入試など）を実施し、複数の入学者選抜方式によって多様な人材を受け入れることを目指しています。 ●一般入試（前期日程） 　基礎学力の把握のため、大学入試センター試験（５教科７科目）を課すとともに、個別学力検査で、高等学校で得た化学の基本的な知識と理解力について評価します。 ●一般入試（後期日程） 　基礎学力の把握のため、大学入試センター試験（５教科６科目又は７科目）を課すとともに、個別学力検査（面接）で、志望動機や将来の展望などとともに、高等学校の一般的学習を前提とした栄養・健康・生命科学に関する時事的諸問題についての理解力や理科学的思考などを総合的に問います。 ●推薦入試 　和文及び英文の小論文で、課題に対する基礎的知識、読解力、分析力、論理的思考力、表現力等を評価します。 　面接で、志望動機、学科への関心、生命科学への関心、健康観、将来展望、高校生活等の質疑応答から、目的意識と意欲を総合的に判断します。 ●帰国子女入試 　小論文で、課題に対する基礎的知識、読解力、分析力、論理的思考力、表現力等を評価します。英語に関する問題も含みます。 　面接で、志望動機、学科への関心、生命科学への関心、健康観、将来展望、高校生活等の質疑応答から、目的意識と意欲を総合的に評価します。 ●社会人入試 　小論文で、課題に対する基礎的知識、読解力、分析力、論理的思考力、表現力等を評価します。英語に関する問題も含みます。 　面接で、志望動機、学科への関心、生命科学への関心、健康観、将来展望、高校生活等の質疑応答から、目的意識と意欲を総合的に評価します。 ●私費外国人留学生入試 　学力試験では、化学の基本的な知識と理解力について評価します。 　面接で、志望動機、学科への関心、生命科学への関心、健康観、将来展望等の質疑応答から、目的意識と意欲を総合的に評価します。

平成２７年度　入学者選抜要項

目　　次

１　平成２７年度入学者選抜における主な変更点　－－－－－－－－－－－－－－－－－－　１

２　募集人員　－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－　２

３　選抜日程について　－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－　３

４　入学者選抜方法等　－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－　４～５

５　一般入試　－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－　６～９

６　特別選抜

（１）推薦入試

（ア）長崎県内高等学校　－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－　10～12

（イ）長崎県外高等学校　－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－　13～14

（ウ）アカウンティングプログラム枠　－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－　15

（エ）離島看護師特別枠　－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－　16

（オ）長崎県内高等学校衛生看護科　－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－　17

（２）帰国子女　－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－　18

（３）社会人　－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－　19

（４）私費外国人留学生　－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－　20～22

７　アドミッション・オフィス入試（ＡＯ入試）　－－－－－－－－－－－－－－－－－－　23

８　調査書の提出について　－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－　24

９　身体に障害のある入学志願者の受験特別措置　－－－－－－－－－－－－－－－－－－　24

10　個別入学資格審査について　－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－　24

11　入試情報の開示について　－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－　24

12　学生募集要項の請求方法等　－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－　25～26

１　平成２７年度入学者選抜における主な変更点

平成２７年度より長崎県立大学入学者選抜において、以下の点を変更します。

（１）経済学部ＡＯ入試募集停止及び流通・経営学科推薦入試アカウンティングプログラム枠の新設

経済学部において、平成２７年度入試よりＡＯ入試の募集を停止します。

また、流通・経営学科では、推薦入試アカウンティングプログラム枠（募集人員３名）を新設します。各区分の募集人員は、２ページをご参照ください。

（２）一般入試における大学入試センター試験教科利用方法及び個別学力検査の変更

以下の学部において、変更します。

経済学部（経済学科，地域政策学科，流通・経営学科）：

国語、数学、外国語から高得点２教科を必須とする３教科３科目、３教科４科目、３教科５科目のいずれかを利用する。

※　個別学力検査は変更ありません。

国際情報学部（情報メディア学科）：

①　大学入試センター試験の教科・科目の**配点を変更**する。

②　個別学力検査出題科目を**総合問題から科目試験へ変更**する。

（３）大学入試センター試験数学・理科の利用方法

新高等学校学習指導要領による数学・理科の平成２７年度大学入試センター試験の利用教科・科目は、７、８ページをご参照ください。

また、個別学力検査における旧教育課程履修者への経過措置等の注意事項は９ページをご参照ください。

2　募集人員

（単位：人）

<table>
<tr><th colspan="3" rowspan="3">区　　分</th><th colspan="7">募　集　人　員</th></tr>
<tr><th colspan="3">経済学部</th><th colspan="2">国際情報学部</th><th colspan="2">看護栄養学部</th></tr>
<tr><th>経済学科</th><th>地域政策学科</th><th>流通・経営学科</th><th>国際交流学科</th><th>情報メディア学科</th><th>看護学科</th><th>栄養健康学科</th></tr>
<tr><td colspan="3">ＡＯ入試</td><td></td><td></td><td></td><td>8</td><td>5</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="7">特別選抜
(推薦入試)</td><td rowspan="4">県内</td><td>普通科</td><td>17</td><td>17</td><td>17</td><td rowspan="4">20</td><td rowspan="4">12</td><td rowspan="4">16
（普通科13
離島看護師
特別枠　2
衛生看護科1）
（※2）</td><td rowspan="4">10</td></tr>
<tr><td>専門学科</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td></tr>
<tr><td>総合学科</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td></tr>
<tr><td>離島高校</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr>
<tr><td rowspan="2">県外</td><td>普通科等</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td rowspan="2">5</td><td rowspan="2">2</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>商業科・
総合学科等</td><td>6</td><td>6</td><td>6</td></tr>
<tr><td colspan="2">アカウンティング
プログラム枠</td><td></td><td></td><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="4">一般入試</td><td colspan="2">前期日程</td><td>70</td><td>70</td><td>70</td><td>40</td><td>34</td><td>38</td><td>24</td></tr>
<tr><td rowspan="3">後期
日程</td><td>Ａコース(※1)</td><td>10</td><td>10</td><td>9</td><td rowspan="3">7</td><td rowspan="3">7</td><td rowspan="3">6</td><td rowspan="3">6</td></tr>
<tr><td>Ｂコース(※1)</td><td>10</td><td>10</td><td>9</td></tr>
<tr><td>Ｃコース(※1)</td><td>10</td><td>10</td><td>9</td></tr>
<tr><td rowspan="3">特別選抜</td><td colspan="2">帰国子女</td><td>若干名</td><td>若干名</td><td>若干名</td><td>若干名</td><td>若干名</td><td>若干名</td><td>若干名</td></tr>
<tr><td colspan="2">社会人</td><td>若干名</td><td>若干名</td><td>若干名</td><td>若干名</td><td>若干名</td><td>若干名</td><td>若干名</td></tr>
<tr><td colspan="2">私費外国人留学生</td><td>若干名</td><td>若干名</td><td>若干名</td><td>若干名</td><td>若干名</td><td>若干名</td><td>若干名</td></tr>
<tr><td colspan="3">学　科　計</td><td>150</td><td>150</td><td>150</td><td>80</td><td>60</td><td>60</td><td>40</td></tr>
<tr><td colspan="3">学　部　計</td><td colspan="3">450</td><td colspan="2">140</td><td colspan="2">100</td></tr>
<tr><td colspan="3">合　　計</td><td colspan="7">690</td></tr>
</table>

【経済学部】

※1　後期日程Ａコースは「小論文」、後期日程Ｂコースは「英語」、後期日程Ｃコースは「数学」で個別学力検査等を実施するものであり、出願時にコース選択を行う必要があります。

【看護栄養学部】

※2　**看護学科**の普通科とは衛生看護科以外の科をいいます。

【共通】

各学科の特別選抜（帰国子女、社会人、私費外国人留学生）の募集人員（若干名）は、以下の入試区分の募集人員に含まれます。

- **経済学科**、**地域政策学科**、**流通・経営学科**、**国際交流学科**、**看護学科**の前期日程
- **情報メディア学科**、**栄養健康学科**の推薦入試

３　選抜日程について

■ＡＯ入試

学　　部	国際情報学部
出願期間	平成２６年　９月１８日（木） ～９月２６日（金）
選抜期日	【第２次選考】平成２６年１０月２５日（土）
合格発表日	【第１次選考】平成２６年１０月１０日（金）
	【第２次選考】平成２６年１０月３１日（金）

■特別選抜（推薦入試・帰国子女・社会人）

学　　部	経済学部	国際情報学部 看護栄養学部
出願期間	平成２６年１１月　１日（土）～１１月１０日（月）	
選抜期日	【県内高等学校の「離島高校」】 【アカウンティングプログラム枠】 平成２６年１１月２２日（土）	平成２６年１１月２９日（土）
	【県内高等学校の「離島高校」及びアカウンティングプログラム枠を除く全ての区分】 平成２６年１１月２９日（土） ～１１月３０日（日） ※　帰国子女・社会人は２９日のみ	
合格発表日	平成２６年１２月　５日（金） ※「離島看護師特別枠」は平成２７年　２月１０日（火）	

■特別選抜（私費外国人留学生）

学　　部	経済学部	国際情報学部 看護栄養学部
出願期間	平成２６年１１月　５日（水） ～１１月１３日（木）	平成２７年　１月　９日（金） ～　１月１６日（金）
選抜期日	平成２６年１２月　９日（火）	平成２７年　２月２５日（水）
合格発表日	平成２７年　１月　９日（金）	平成２７年　３月　５日（木）

■一般入試

学　　部	経済学部・国際情報学部・看護栄養学部	
日程区分	前 期 日 程	後 期 日 程
出願期間	平成２７年　１月２６日（月）～　２月　４日（水）	
選抜期日	平成２７年　２月２５日（水）	平成２７年　３月１２日（木）
合格発表日	平成２７年　３月　５日（木）	平成２７年　３月２１日（土）

4　入学者選抜方法等

(1)一般入試、専門高校・総合学科卒業生選抜、アドミッション・オフィス入試

選抜方法等／学部・学科名		一般入試									専門高校・総合学科卒業生選抜	アドミッション・オフィス入試					備考（欠員の補充の方法等）
		日程区分	個別学力検査を課する	実技検査等				2段階選抜				個別学力検査を課する	実技検査等				
				実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する	主として、調査書の内容と大学入試センター試験の成績により第1段階選抜を行い、その合格者について更に必要な検査等を行う	第1段階の選抜による合格者数				実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する	
									定員に対する倍率	その他							
経済	経済　地域政策　流通・経営	前期	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	追加合格 欠員補充（経済学部のみ）
		後A	×	×	×	○	×	×	×	×							
		後B	○	×	×	×	×	×	×	×							
		後C	○	×	×	×	×	×	×	×							
国際情報	国際交流	前期	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	
		後期	○	×	×	×	×	×	×	×							
	情報メディア	前期	○	×	×	×	×	×	×	×							
		後期	○	×	×	×	×	×	×	×							
看護栄養	看護	前期	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
		後期	×	×	○	○	×	×	×	×							
	栄養健康	前期	○	×	×	×	×	×	×	×							
		後期	×	×	○	×	×	×	×	×							

(注)○印は該当することを示し、×印は該当しないことを示します。

(2)特別選抜

選抜方法等 / 学部・学科名		区分		推薦入試							募集人員	帰国子女・社会人等のための特別選抜				備考
				入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、学力検査を免除し調査書を主な資料として判定する												
						実技検査等										
				個別学力検査を免除し、大学入試センター試験を課する	個別学力検査及び大学入試センター試験を免除する	実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する	その他		帰国子女	社会人	中国引揚者等子女	私費外国人留学生	
経済	経済 地域政策 流通・経営	県内	普通科	×	○	×	○	○	×	×	各学科17	○	○	×	○	
			専門学科	×	○	×	○	○	×	×	各学科10					
			総合学科	×	○	×	○	○	×	×	各学科5					
			離島高校	×	○	×	○	×	×	×	各学科2					
		県外	普通科等	×	○	×	○	○	×	×	各学科10					
			商・総合等	×	○	×	○	○	×	×	各学科6					
	流通・経営	アカウンティングプログラム枠		×	○	×	○	○	×	×	3					
国際情報	国際交流	県内		×	○	×	○	○	×	×	20	○	○	×	○	
		県外									5					
	情報メディア	県内		×	○	×	○	○	×	×	12					
		県外									2					
看護栄養	看護	県内	普通科	×	○	×	○	○	×	×	13	○	○	×	○	
			離島看護師特別枠	○	×	×	○	○	×	×	2					
			衛生看護科	×	○	×	○	○	×	×	1					
	栄養健康	県内		×	○	×	○	○	×	×	10					

(注)○印は該当することを示し、×印は該当しないことを示します。

(注)県内・県外の別は志願者の出身高校の所在地(都道府県)によって判断します。

(注)看護栄養学部の帰国子女・社会人等のための特別選抜は県内生、県外生ともに募集します。

５　一般入試

（１）出願資格

平成２７年度大学入試センター試験のうち、本学が指定する教科・科目を受験した者（外国語において英語を選択した者はリスニングテストも必ず受験すること）で、以下の各号のいずれかに該当する者とします。

①高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成２７年３月卒業見込みの者

②通常の課程による１２年の学校教育を修了した者及び平成２７年３月修了見込みの者

③外国において学校教育における１２年の課程を修了した者及び平成２７年３月３１日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者

④文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成２７年３月３１日までに修了見込みの者

⑤専修学校の高等課程（修業年限が３年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

⑥文部科学大臣の指定した者

⑦高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び平成２７年３月３１日までに合格見込みの者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）

⑧本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成２７年３月３１日までに１８歳に達する者

（２）選抜方法

入学者の選抜は、大学入試センター試験と個別学力検査等の成績及び出願書類の内容を総合的に判定して行います。

また、大学入試センター試験及び個別学力検査等の利用教科・科目等については、７、８ページの「入学者選抜の利用教科・科目等について」を参照してください。

なお、大学入試センター試験で本学が指定した教科・科目（外国語において英語を選択した者はリスニングテスト必須）を受験しなかった場合は、個別学力検査等を受験しても失格となります。

（３）成績の利用方法

大学入試センター試験の「地理歴史、公民」又は「理科」の基礎を付さない科目について、２科目を受験した場合、本学部・学科が受験科目数を１科目と指定しているものに関しては、第１解答科目の得点を採用します。

また、国際情報学部・看護栄養学部が指定している科目を第１解答科目として受験せず、第２解答科目として受験した場合は失格として取り扱います。

（４）経済学部の第２志望について

一般入試に係る学科の選択については、出願の際に第１志望の学科のほか、他の学科を第２志望の学科として選択することができます。この場合には選抜の結果、第２志望の学科の合格者となることがありますので、十分考慮のうえ、志望する学科を選択してください。

（５）入学者選抜の利用教科・科目等について

学部・学科等名及び入学定員等（平成26年度志願倍率）		学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名 教科	科目名等	個別学力検査等 教科等	科目名等	大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等 試験の区分		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	配点合計	特別の選抜方法等
経済学部	経済学科 150人 前期70 後期30 コースA 10 B 10 C 10 その他50	前期 2月25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B,現社,倫,政経,倫・政経 から1 ①:数Ⅰ,「数Ⅰ・数A」旧数Ⅰ,「旧数Ⅰ・旧数A」 から1 ②:数Ⅱ,「数Ⅱ・数B」,旧数Ⅱ,「旧数Ⅱ・旧数B」工,簿,情報 から1 ①:物理基礎,化学基礎,生物基礎,地学基礎 ②:物理,化学,生物,地学,理総A,理総B,物Ⅰ,化Ⅰ,生Ⅰ,地学Ⅰ ①から2または②から1 英〈ﾘｽﾆﾝｸﾞ必須〉,独,仏,中,韓から1 〔3教科(3科目,4科目,5科目のうちいずれか)〕 (国,地歴又は公民,数①及び数②,理,外から3教科を用いる。但し,3教科のうち2教科は,国,数,外の中から高得点の2教科を必須)	その他	小論文	センター試験		※必 200	※ 200	※ 200	※必 200	※ 200	※必 200		600	推薦 帰国子女 社会人 外国人 追加合格 欠員補充
							個別学力検査等								200	200	
							計									800	
		後期 3月12日			その他	小論文	後期 A・B・C	センター試験	※必 200	※ 200	※ 200	※必 200	※ 200	※必 200		600	
					英語	英Ⅰ,英Ⅱ,リーディング,ライティング		個別学力検査等				※ 200		※ 200	※ 200	200	
					数学	数Ⅰ,数Ⅱ,数A,数B		計								800	
	地域政策学科 150人 前期70 後期30 コースA 10 B 10 C 10 その他50	前期 2月25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B,現社,倫,政経,倫・政経 から1 ①:数Ⅰ,「数Ⅰ・数A」旧数Ⅰ,「旧数Ⅰ・旧数A」 から1 ②:数Ⅱ,「数Ⅱ・数B」,旧数Ⅱ,「旧数Ⅱ・旧数B」工,簿,情報 から1 ①:物理基礎,化学基礎,生物基礎,地学基礎 ②:物理,化学,生物,地学,理総A,理総B,物Ⅰ,化Ⅰ,生Ⅰ,地学Ⅰ ①から2または②から1 英〈ﾘｽﾆﾝｸﾞ必須〉,独,仏,中,韓から1 〔3教科(3科目,4科目,5科目のうちいずれか)〕 (国,地歴又は公民,数①及び数②,理,外から3教科を用いる。但し,3教科のうち2教科は,国,数,外の中から高得点の2教科を必須)	その他	小論文	センター試験		※必 200	※ 200	※ 200	※必 200	※ 200	※必 200		600	推薦 帰国子女 社会人 外国人 追加合格 欠員補充
							個別学力検査等								200	200	
							計									800	
		後期 3月12日			その他	小論文	後期 A・B・C	センター試験	※必 200	※ 200	※ 200	※必 200	※ 200	※必 200		600	
					英語	英Ⅰ,英Ⅱ,リーディング,ライティング		個別学力検査等				※ 200		※ 200	※ 200	200	
					数学	数Ⅰ,数Ⅱ,数A,数B		計								800	
	流通・経営学科 150人 前期70 後期27 コースA 9 B 9 C 9 その他53	前期 2月25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B,現社,倫,政経,倫・政経 から1 ①:数Ⅰ,「数Ⅰ・数A」旧数Ⅰ,「旧数Ⅰ・旧数A」 から1 ②:数Ⅱ,「数Ⅱ・数B」,旧数Ⅱ,「旧数Ⅱ・旧数B」工,簿,情報 から1 ①:物理基礎,化学基礎,生物基礎,地学基礎 ②:物理,化学,生物,地学,理総A,理総B,物Ⅰ,化Ⅰ,生Ⅰ,地学Ⅰ ①から2または②から1 英〈ﾘｽﾆﾝｸﾞ必須〉,独,仏,中,韓から1 〔3教科(3科目,4科目,5科目のうちいずれか)〕 (国,地歴又は公民,数①及び数②,理,外から3教科を用いる。但し,3教科のうち2教科は,国,数,外の中から高得点の2教科を必須)	その他	小論文	センター試験		※必 200	※ 200	※ 200	※必 200	※ 200	※必 200		600	推薦 帰国子女 社会人 外国人 追加合格 欠員補充
							個別学力検査等								200	200	
							計									800	
		後期 3月12日			その他	小論文	後期 A・B・C	センター試験	※必 200	※ 200	※ 200	※必 200	※ 200	※必 200		600	
					英語	英Ⅰ,英Ⅱ,リーディング,ライティング		個別学力検査等				※ 200		※ 200	※ 200	200	
					数学	数Ⅰ,数Ⅱ,数A,数B		計								800	

その他153

(3.5倍) 450人 前期210 後期87 コースA 29 B 29 C 29

○配点に「※」印を付してある教科は選択教科を表す。但し、「※必」を付してある教科から高得点2教科を必須として合否判定を行う。
○二段階選抜は実施しない。

学部・学科等名及び入学定員等（平成26年度志願倍率）		学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名 教科	科目名等	個別学力検査等 教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合問題	小論文	面接	配点合計	特別の選抜方法等
国際情報学部 (3.7倍) 140人 前期 74 後期 14 その他 52	国際交流学科 80人 前期 40 後期 7 その他 33	前期 2月25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B,日B,地理Bから1 現社,倫,政経,倫・政経から1 「数Ⅰ・数A」,「旧数Ⅰ・旧数A」,「数Ⅱ・数B」,「旧数Ⅱ・旧数B」から1 ①:物理基礎,化学基礎,生物基礎,地学基礎 ②:物理,化学,生物,地学物Ⅰ,化Ⅰ,生Ⅰ,地学Ⅰ ①から2または②から1 から2教科 英〈ﾘｽﾆﾝｸﾞ必須〉,独,仏,中,韓から1 〔4教科4科目又は5科目〕	その他	総合問題(高等学校で得た基礎学力(特に英語,国語の理解力)を前提に,提示した素材により,読解力,思考力,表現力等を問う記述試験。)	センター試験	200	※100	※100	※100	※100	250				650	推薦 帰国子女 社会人 外国人 AO入試 追加合格
							個別学力検査							200			200	
							計										850	
		後期 3月12日					センター試験	200	※100	※100	※100	※100	250				650	
							個別学力検査							200			200	
							計										850	
	情報メディア学科 60人 前期 34 後期 7 その他 19	前期 2月25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B,日B,地理B 現社,倫,政経,倫・政経 から1 ①:「数Ⅰ・数A」,「旧数Ⅰ・旧数A」から1 ②:「数Ⅱ・数B」,「旧数Ⅱ・旧数B」から1 ①:物理基礎,化学基礎,生物基礎,地学基礎 ②:物理,化学,生物,地学,物Ⅰ,化Ⅰ,生Ⅰ,地学Ⅰ ①から2または②から1 英〈ﾘｽﾆﾝｸﾞ必須〉 〔5教科6科目又は7科目〕	英語	英Ⅰ,英Ⅱ,リーディング,ライティング	センター試験	200	※100	※100	200	100	250				850	推薦 帰国子女 社会人 外国人 AO入試 追加合格
							個別学力検査	※200			※200		英200				400	
					国語	国語総合(古文・漢文を除く)	計										1250	
							センター試験	100	※50	※50	100	50	125				425	
					数学	数Ⅰ,数Ⅱ,数A,数B ＊ 数Bは「数列」,「ベクトル」を出題範囲とする。 から1教科	個別学力検査	※200			※200		英200				400	
							計										825	
		後期 3月12日																
看護栄養学部 (4.4倍) 100人 前期 62 後期 12 その他 26	看護学科 60人 前期 38 後期 6 その他 16	前期 2月25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B,日B,地理B 現社,倫,政経,倫・政経 から1 ①:「数Ⅰ・数A」,「旧数Ⅰ・旧数A」から1 ②:「数Ⅱ・数B」,「旧数Ⅱ・旧数B」から1 ①:物理基礎,化学基礎,生物基礎,地学基礎 ②:物理,化学,生物,物Ⅰ,化Ⅰ,生Ⅰ ①から2または②から1 英〈ﾘｽﾆﾝｸﾞ必須〉 〔5教科6科目又は7科目〕	その他	小論文(高等学校の一般的学習を前提にして,課題に対する理解力,論理的思考力,表現力等を問う記述試験。) 面接(調査書等の出願書類を参考に,学習意欲,理解力,表現力,社会性等,本学科が提供する専門領域に対する適性などを評価。)	センター試験	200	※100	※100	200	100	200				800	推薦 帰国子女 社会人 外国人 追加合格
							個別学力検査等								200	100	300	
							計										1100	
		後期 3月12日					センター試験	200	※100	※100	200	100	200				800	
							個別学力検査等								200	100	300	
							計										1100	
	栄養健康学科 40人 前期 24 後期 6 その他 10	前期 2月25日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B,日B,地理B 現社,倫,政経,倫・政経 から1 ①:「数Ⅰ・数A」,「旧数Ⅰ・旧数A」から1 ②:「数Ⅱ・数B」,「旧数Ⅱ・旧数B」から1 物理,化学,生物,地学,物Ⅰ,化Ⅰ,生Ⅰ,地学Ⅰから2 英〈ﾘｽﾆﾝｸﾞ必須〉 〔5教科7科目〕	理科	化学基礎・化学	センター試験	200	※100	※100	200	200	200				900	推薦 帰国子女 社会人 外国人 追加合格
							個別学力検査					200					200	
							計										1100	
		後期 3月12日	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B,日B,地理B 現社,倫,政経,倫・政経 から1 ①:「数Ⅰ・数A」,「旧数Ⅰ・旧数A」から1 ②:「数Ⅱ・数B」,「旧数Ⅱ・旧数B」から1 ①:物理基礎,化学基礎,生物基礎,地学基礎 ②:物理,化学,生物,地学,物Ⅰ,化Ⅰ,生Ⅰ,地学Ⅰ ①から2または②から1 英〈ﾘｽﾆﾝｸﾞ必須〉 〔5教科6科目又は7科目〕	その他	面接(志望動機や将来の展望などとともに,高等学校の一般的学習を前提とした栄養・健康・生命科学に関する時事的諸問題についての理解力や理科学的思考力などを総合的に問う。)	センター試験	200	※100	※100	200	200	200				900	
							個別学力検査等									200	200	
							計										1100	

○配点に「※」印を付してある教科は選択教科を表す。
○二段階選抜は実施しない。

＜注意事項＞

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

○経済学科、地域政策学科、・・・・・・流通・経営学科

①４教科以上受験した場合は、高得点順に３教科を用いる。但し、３教科のうち２教科は、「国語」「数学」「外国語」のうち得点の高い２教科を必須として合否判定に用いる。

②「数学」については、２科目受験した場合のみ合否判定に用いる。

③「地理歴史・公民」について、２科目受験した場合は、第１解答科目を合否判定に用いる。

④「理科」の基礎を付さない科目を２科目受験した場合は、第１解答科目を合否判定に用いる。

○国際交流学科・・・・・・・・・・・・

①「地理歴史」・「公民」・「数学」・「理科」について、３教科以上受験した場合は、高得点の２教科を合否判定に用いる。

②「理科」の基礎を付さない科目を２科目受験した場合は、第１解答科目を合否判定に用いる。

③「地理歴史・公民」について、２科目受験した場合は次のとおりとする。２科目ともに高得点２教科となる場合のみ、その２科目を合否判定に採用し、そうでない場合は、第１解答科目を合否判定に用いる。

○情報メディア学科、看護学科・・・・

①「地理歴史・公民」について、２科目受験した場合は、第１解答科目を合否判定に用いる。

②「理科」の基礎を付さない科目を２科目受験した場合は、第１解答科目を合否判定に用いる。

○栄養健康学科（前期）・・・・・・・・

「地理歴史・公民」について、２科目受験した場合は、第１解答科目を合否判定に用いる。

○栄養健康学科（後期）・・・・・・・・

①「地理歴史・公民」について、２科目受験した場合は、第１解答科目を合否判定に用いる。

②「理科」の基礎を付さない科目を２科目受験した場合は、第１解答科目を合否判定に用いる。

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

○経済学科、地域政策学科、・・・・・・流通・経営学科

①大学入試センター試験の外国語の英語は、筆記試験（２００点満点）とリスニングテスト（５０点満点）の合計得点（２５０点満点）を２００点満点に換算し、独、仏、中、韓の得点は２００点満点をそのまま利用する。
②後期日程のコースは、Ａコース：小論文、Ｂコース：英語、Ｃコース：数学を個別学力検査等の科目とする。
③個別学力検査の数学は、新教育課程による科目とこれに対応する旧教育課程の科目との共通の範囲から出題します。ただし、新教育課程の科目固有の範囲から問題を作成する場合には、旧教育課程の科目の範囲から出題する問題を用意し、旧教育課程履修者は選択して解答できるようにします。
④大学入試センター試験の「地理歴史」、「公民」、「理科」は１００点満点を２００点満点に換算する。

○国際交流学科・・・・・・・・・・・・

大学入試センター試験の外国語の英語は、筆記試験（２００点満点）とリスニングテスト（５０点満点）の合計得点（２５０点満点）をそのまま利用し、独、仏、中、韓の得点は２００点満点を２５０点満点に換算する。

○情報メディア学科・・・・・・・・・

個別学力検査の数学は、新教育課程の科目と旧教育課程の科目の共通の範囲から出題します。
ただし、新教育課程の科目固有の範囲から出題する問題に対しては、旧教育課程の科目の範囲から出題する問題を用意し、旧教育課程履修者はいずれかを選択できるようにします。

○看護学科・・・・・・・・・・・・・

大学入試センター試験の外国語の英語は、筆記試験（２００点満点）とリスニングテスト（５０点満点）の合計得点（２５０点満点）を２００点満点に換算する。

○栄養健康学科・・・・・・・・・・・

①大学入試センター試験の外国語の英語は、筆記試験（２００点満点）とリスニングテスト（５０点満点）の合計得点（２５０点満点）を２００点満点に換算する。
②後期日程における大学入試センター試験の「理科」は１００点満点を２００点満点に換算する。
③個別学力検査の化学は、新教育課程の科目と旧教育課程の科目の共通の範囲から出題するなど、旧教育課程履修者に不利にならないように配慮した出題をおこないます。旧教育課程の化学Ⅱは全範囲が出題範囲となります。
④個別学力検査等の化学は、「入試過去問題活用宣言」に参加している大学の入試過去問題を使用して出題する場合があります。必ず使用するとは限りません。また、入試過去問題を使用する際は、そのまま使用することも、一部改変することもあります。「入試過去問題活用宣言」についての詳細及び参加大学の一覧については、次のURLにて公表しています。
http://www.nyushikakomon.jp/

6　特別選抜

（1） 推薦入試

（ア）長崎県内高等学校

<table>
<tr><td>実施学部</td><td colspan="3">経　　済</td></tr>
<tr><td>学科名</td><td>経　　済</td><td>地域政策</td><td>流通・経営</td></tr>
<tr><td rowspan="2">募集人員</td><td>３４名</td><td>３４名</td><td>３４名</td></tr>
<tr><td>普通科　１７名
専門教育を主とする学科　１０名
総合学科　５名
離島高校　２名</td><td>普通科　１７名
専門教育を主とする学科　１０名
総合学科　５名
離島高校　２名</td><td>普通科　１７名
専門教育を主とする学科　１０名
総合学科　５名
離島高校　２名</td></tr>
<tr><td>出願要件</td><td colspan="3">①～③のすべてに該当する者

①県内の高等学校を平成２７年３月卒業見込みの者、ただし、「離島高校」区分については、県内の離島（離島振興法に規定する地域）の高等学校を平成２７年３月卒業見込みの者（分校、定時制課程も１高等学校とみなす。）

②【普通科】
普通科のほか、理数科、英語科など本学が普通科に準ずると認める学科を対象とする。
次に該当する者で、人物・学力ともに優秀で、高等学校長が責任を持って推薦できる者
（ア）調査書の全体の評定平均値が３．８以上の者

【専門教育を主とする学科】
次の各号のいずれかに該当する者で、人物・学力ともに優秀で、高等学校長が責任を持って推薦できる者
（ア）調査書の全体の評定平均値が４．０以上の者
（イ）調査書の全体の評定平均値が３．５以上４．０未満の者で、次の検定試験のいずれかに合格している者
ⅰ．日本商工会議所主催簿記検定試験２級以上
ⅱ．公益財団法人全国商業高等学校協会主催簿記実務検定試験第１級
ⅲ．経済産業省主催基本情報技術者試験
ⅳ．公益財団法人全国商業高等学校協会主催情報処理検定試験第１級
ⅴ．公益財団法人日本英語検定協会主催実用英語技能検定２級以上

【総合学科】
次に該当する者で、人物・学力ともに優秀で、高等学校長が責任を持って推薦できる者
（ア）調査書の全体の評定平均値が４．０以上の者

【離島高校】
次の各号のいずれにも該当する者で、人物・学力ともに特に優秀で、高等学校長が責任を持って推薦できる者
（ア）調査書の全体の評定平均値が４．０以上、かつ「国語」、「数学又は商業」、「外国語」の３教科の評定平均値の平均が４．０以上の者
（イ）志望学科に対し適性を有する者で、学習を含めた学校内外の活動に意欲的に取り組んだ者

③志願者は、本学の推薦入試に限定して志願する者で、合格した場合には本学に入学することを確約できる者</td></tr>
</table>

選 抜 方 法	【県内高等学校の「離島高校」を除く全ての区分】 　大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、提出された推薦書、調査書等の出願書類及び大学が実施する小論文、面接の結果を総合して選抜する。 【県内高等学校の「離島高校」】 　大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、提出された推薦書、調査書、志望理由書、自己推薦書等の出願書類及び大学が実施する面接の結果を総合して選抜する。
出 願 期 間	平成２６年１１月　１日（土）～１１月１０日（月）
選 抜 期 日	【県内高等学校の「離島高校」】 平成２６年１１月２２日（土） 【県内高等学校の「離島高校」を除く全ての区分】 平成２６年１１月２９日（土）～１１月３０日（日）
合格発表日	平成２６年１２月　５日（金） ※　学内掲示板、本学ホームページに合格者の受験番号を発表するとともに、合格者に対して合格通知書を、受験者が在籍する各高等学校長に対して受験結果通知書を発送する。 ※　県内高等学校の「離島高校」区分については、平成２６年１１月２６日（水）に受験者が在籍する各高等学校長に対して受験結果通知書を発送する。
そ　の　他	○１高等学校当たりの推薦できる人数 ①「普通科」は、１高等学校（分校を含む）につき６名以内とする。 （各学科３名を上限） ②「専門教育を主とする学科」は、推薦できる人数の制限をしない。 ③「総合学科」は、１高等学校につき６名以内とする。 （各学科３名を上限） ④「離島高校」は、１高等学校につき１名とする。 　また、「離島高校」区分に出願した者は、県内高等学校の他の区分に併願することができる。併願先の区分において、１高等学校当たりの推薦できる人数は、枠外の扱いとする。 ○県内高等学校の「離島高校」区分の第２志望選択 　県内高等学校の「離島高校」区分に出願する者は、出願の際に第１志望学科のほか、他の学科を第２志望の学科として選択することが可能です。 　この場合には選抜の結果、第２志望の学科の合格者となることがありますので、十分考慮のうえ、志望する学科を選択してください。

<table>
<tr><td>実施学部</td><td colspan="2">国　際　情　報</td><td colspan="2">看　護　栄　養</td></tr>
<tr><td>学　科　名</td><td>国際交流</td><td>情報メディア</td><td>看　　護</td><td>栄養健康</td></tr>
<tr><td>募集人員</td><td>２０名</td><td>１２名</td><td>１３名</td><td>１０名</td></tr>
<tr><td>出願要件</td><td colspan="4">次の要件をすべて満たしている者

①長崎県内の高等学校を平成２７年３月卒業見込みの者（平成２６年度学年の途中において又は学期の区分に従い高等学校の卒業を認められた者を含む）

②志願者が在籍する高等学校長が責任を持って推薦できる者

③志願者は、人物・学力ともに優秀で、志望学科に対し適性を有する者

④志願者は、本学の推薦入試に限定して志願する者で、合格した場合には本学に入学することを確約できる者

⑤調査書の全体の評定平均値が３．８以上である者</td></tr>
<tr><td>選抜方法</td><td colspan="4">大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、提出された推薦書、調査書等の出願書類及び大学が実施する小論文、面接の結果を総合して選抜する。</td></tr>
<tr><td>出願期間</td><td colspan="4">平成２６年１１月　１日（土）～１１月１０日（月）</td></tr>
<tr><td>選抜期日</td><td colspan="4">平成２６年１１月２９日（土）</td></tr>
<tr><td>合格発表日</td><td colspan="4">平成２６年１２月　５日（金）
※　学内掲示板、本学ホームページに合格者の受験番号を発表するとともに、合格者に対して合格通知書を、受験者が在籍する各高等学校長に対して受験結果通知書を発送する。</td></tr>
<tr><td>そ　の　他</td><td colspan="4">○１高等学校当たりの推薦できる人数
１高等学校につき各学科２名以内</td></tr>
</table>

（イ）長崎県外高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。以下同じ）

<table>
<tr><td>実施学部</td><td colspan="3">経　　済</td></tr>
<tr><td>学科名</td><td>経　　済</td><td>地域政策</td><td>流通・経営</td></tr>
<tr><td rowspan="2">募集人員</td><td>１６名</td><td>１６名</td><td>１６名</td></tr>
<tr><td>普通科等　１０名
商業科・総合学科等　６名</td><td>普通科等　１０名
商業科・総合学科等　６名</td><td>普通科等　１０名
商業科・総合学科等　６名</td></tr>
<tr><td>出願要件</td><td colspan="3">①～③のすべてに該当する者

①県外の高等学校を平成２７年３月卒業見込みの者

②【普通科等】
普通科のほか、理数科、英語科など本学が普通科に準ずると認める学科及び下記の「商業科・総合学科等」の区分に属さない学科を対象とする。
次に該当する者で、人物・学力ともに優秀で、高等学校長が責任を持って推薦できる者
（ア）調査書の全体の評定平均値が３．８以上の者

【商業科・総合学科等】
この区分は、商業高校の全科を含む。また、総合学科等に所属し、商業に関する科目を２０単位以上修得した者（又は修得見込みの者）を対象とする。
（注）総合学科以外の学科でも、商業に関する科目を２０単位以上修得した者（又は修得見込みの者）は、【商業科・総合学科等】区分での出願となる。

次の各号のいずれかに該当する者で、人物・学力ともに特に優秀で、高等学校長が責任を持って推薦できる者
（ア）調査書の全体の評定平均値が４．０以上の者
（イ）調査書の全体の評定平均値が３．５以上４．０未満の者で、次の検定試験のいずれかに合格している者
ⅰ．日本商工会議所主催簿記検定試験２級以上
ⅱ．公益財団法人全国商業高等学校協会主催簿記実務検定試験第１級
ⅲ．経済産業省主催基本情報技術者試験
ⅳ．公益財団法人全国商業高等学校協会主催情報処理検定試験第１級
ⅴ．公益財団法人日本英語検定協会主催実用英語技能検定２級以上

③志願者は、本学の推薦入試に限定して志願する者で、合格した場合には本学に入学することを確約できる者</td></tr>
<tr><td>選抜方法</td><td colspan="3">大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、提出された推薦書、調査書等の出願書類及び大学が実施する小論文、面接の結果を総合して選抜する。</td></tr>
<tr><td>出願期間</td><td colspan="3">平成２６年１１月　１日（土）～１１月１０日（月）</td></tr>
<tr><td>選抜期日</td><td colspan="3">平成２６年１１月２９日（土）～１１月３０日（日）</td></tr>
<tr><td>合格発表日</td><td colspan="3">平成２６年１２月　５日（金）
※　学内掲示板、本学ホームページに合格者の受験番号を発表するとともに、合格者に対して合格通知書を、受験者が在籍する各高等学校長に対して受験結果通知書を発送する。</td></tr>
<tr><td>その他</td><td colspan="3">○１高等学校当たりの推薦できる人数
「普通科等」、「商業科・総合学科等」の両区分とも、１高等学校（分校を含む）につき６名以内とする。（各学科３名を上限）</td></tr>
</table>

実施学部	国　際　情　報	
学　科　名	国　際　交　流	情報メディア
募集人員	５名	２名
出願要件	次の要件をすべて満たしている者 ①長崎県外の高等学校を平成２７年３月卒業見込みの者（平成２６年度学年の途中において又は学期の区分に従い高等学校の卒業を認められた者を含む） ②志願者が在籍する高等学校長が責任を持って推薦できる者 ③志願者は、人物・学力ともに優秀で、志望学科に対し適性を有する者 ④志願者は、本学の推薦入試に限定して志願する者で、合格した場合には本学に入学することを確約できる者 ⑤調査書の全体の評定平均値が３．８以上である者	
選抜方法	大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、提出された推薦書、調査書等の出願書類及び大学が実施する小論文、面接の結果を総合して選抜する。	
出願期間	平成２６年１１月　１日（土）～１１月１０日（月）	
選抜期日	平成２６年１１月２９日（土）	
合格発表日	平成２６年１２月　５日（金） ※　学内掲示板、本学ホームページに合格者の受験番号を発表するとともに、合格者に対して合格通知書を、受験者が在籍する各高等学校長に対して受験結果通知書を発送する。	
そ　の　他	○１高等学校当たりの推薦できる人数 １高等学校につき各学科２名以内	

（ウ）アカウンティングプログラム枠

実施学部	経　　済
学　科　名	流　通　・　経　営
募集人員	３名
出願要件	次の要件をすべて満たしている者 ①高等学校を平成２７年３月卒業見込みの者 ②所属する科（「普通科等」または、「商業科・総合学科等」）に応じた以下の要件を満たすこと。 ※所属する学科で区分は分かれません。 **＜普通科等＞** 普通科のほか、理数科、英語科など本学が普通科に準ずると認める学科及び下記の「商業科・総合学科等」に属さない学科を対象とします。 次に該当する者で、人物・学力ともに特に優秀で、高等学校長が責任を持って推薦できる者 （ア）「国語」、「数学」、「外国語」の３教科の評定平均値の平均が**4.3以上**の者 **＜商業科・総合学科等＞** 商業高校の全科が対象となります。また、総合学科等に所属し、商業に関する科目を**20単位以上**修得した者（又は修得見込みの者）も対象とします。 次の各号すべてに該当する者で、人物・学力ともに特に優秀で、高等学校長が責任を持って推薦できる者 （ア）調査書の全体の評定平均値が**4.3以上**の者 （イ）日本商工会議所主催簿記検定試験２級以上に合格している者 ③合格した場合には本学に入学し、特別プログラム「アカウンティングプログラム」に所属することを確約できる者
選抜方法	大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、提出された推薦書、調査書等の出願書類及び大学が実施する小論文、面接の結果を総合して選抜する。
出願期間	平成２６年１１月　１日（土）～１１月１０日（月）
選抜期日	平成２６年１１月２２日（土）
合格発表日	平成２６年１２月　５日（金） ※　学内掲示板、本学ホームページに合格者の受験番号を発表するとともに、合格者に対して合格通知書を、受験者が在籍する各高等学校長に対して受験結果通知書を発送する。 ※　アカウンティングプログラム枠については、平成２６年１１月２６日（水）に受験者が在籍する各高等学校長に対して受験結果通知書を発送する。
そ　の　他	○１高等学校当たりの推薦できる人数 １高等学校につき２名以内 また、「アカウンティングプログラム枠」区分に出願した者は、他の区分（県内高校「離島高校」区分は除く）に併願することができる。併願先の区分において、１高等学校当たりの推薦できる人数は、枠外の扱いとする。

（エ）離島看護師特別枠

実施学部	看　護　栄　養
学　科　名	看　　護
募集人員	２名
出願要件	次の要件をすべて満たしている者 ①長崎県内の高等学校（離島部に地域を限定しない）を平成２７年３月卒業見込みの者（平成２６年度学年の途中において又は学期の区分に従い高等学校の卒業を認められた者を含む） ②離島医療を担う看護師を志し、人物・学力ともに優秀で、看護学科に対し適性を有し、長崎県の離島医療に貢献することを高等学校長が責任をもって推薦できる者 ③長崎県病院企業団の離島の病院（五島中央病院、上五島病院、対馬いづはら病院）又は長崎県壱岐市（壱岐市民病院）の修学資金の貸与を受け、その制度に基づき、卒業後は、当該病院に勤務することを確約できる者（修学資金の貸与を受けることを前提とした長崎県病院企業団企業長（若しくは長崎県病院企業団の離島の病院長）又は壱岐市長の推薦書を出願書類と併せて提出すること） ④平成２７年度大学入試センター試験の教科・科目のうち、本学が指定する教科・科目をすべて受験する者 ⑤志願者は、本学の離島看護師特別枠入試に限定して志願する者で、合格した場合には本学に入学することを確約できる者 ⑥調査書の全体の評定平均値が３．８以上である者
選抜方法	提出された推薦書、調査書等の出願書類、大学が実施する面接及び大学入試センター試験の成績結果を総合して選抜する。

大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等								
教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	面接	配点合計
国 地歴 公民 数 理 外	国 世B,日B,地理B 現社,倫,政経,倫・政経 } から1 ①:「数Ⅰ・数A」,「旧数Ⅰ・旧数A」から1 ②:「数Ⅱ・数B」,「旧数Ⅱ・旧数B」から1 ①:物理基礎,化学基礎,生物基礎,地学基礎 ②:物理,化学,生物,物Ⅰ,化Ⅰ,生Ⅰ } ①から2または②から1 英〈ﾘｽﾆﾝｸﾞ必須〉 〔5教科6科目又は7科目〕	その他	面接（調査書等の出願書類を参考に、学習意欲，理解力，表現力，社会性等，本学科が提供する専門領域に対する適性などを評価。）	センター試験	200	※100	※100	200	100	200		800
				個別学力検査等							100	100
				計								900

※大学入試センター試験の外国語の英語は、筆記試験（２００点満点）とリスニングテスト（５０点満点）の合計得点（２５０点満点）を２００点満点に換算する。

出願期間	平成２６年１１月　１日（土）～１１月１０日（月）
選抜期日	平成２６年１１月２９日（土）
合格発表日	平成２７年　２月１０日（火） ※　学内掲示板、本学ホームページに合格者の受験番号を発表するとともに、合格者に対して合格通知書を、受験者が在籍する各高等学校長に対して受験結果通知書を発送する。
そ　の　他	○１高等学校当たりの推薦できる人数 １高等学校につき１名以内

（オ）長崎県内高等学校衛生看護科

実施学部	看　護　栄　養
学　科　名	看　　護
募集人員	１名
出願要件	次の要件をすべて満たしている者 ①長崎県内の高等学校の衛生看護科を平成２７年３月卒業（修了）見込みの者（平成２６年度学年の途中において又は学期の区分に従い高等学校の卒業（修了）を認められた者を含む） ②志願者が在籍する高等学校長が責任を持って推薦できる者 ③志願者は、人物・学力ともに優秀で、看護学科に対し適性を有する者 ④志願者は、本学の推薦入試に限定して志願する者で、合格した場合には本学に入学することを確約できる者
選抜方法	大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、提出された推薦書、調査書等の出願書類及び大学が実施する小論文、面接の結果を総合して選抜する。
出願期間	平成２６年１１月　１日（土）～１１月１０日（月）
選抜期日	平成２６年１１月２９日（土）
合格発表日	平成２６年１２月　５日（金） ※　学内掲示板、本学ホームページに合格者の受験番号を発表するとともに、合格者に対して合格通知書を、受験者が在籍する各高等学校長に対して受験結果通知書を発送する。
そ　の　他	○１高等学校当たりの推薦できる人数 １高等学校につき２名以内

（2）帰国子女

<table>
<tr><td>実施学部</td><td colspan="3">経　　済</td><td colspan="2">国際情報</td><td colspan="2">看護栄養</td></tr>
<tr><td>学　科　名</td><td>経済</td><td>地域政策</td><td>流通・経営</td><td>国際交流</td><td>情報メディア</td><td>看　　護</td><td>栄養健康</td></tr>
<tr><td>募集人員</td><td>若干名</td><td>若干名</td><td>若干名</td><td>若干名</td><td>若干名</td><td>若干名</td><td>若干名</td></tr>
<tr><td>出願要件</td><td colspan="7">日本の国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者のうち、保護者の海外勤務等の事情により外国の学校教育を受けた者で、次のいずれかに該当する者

①外国の教育制度に基づく教育機関において、最終学年を含め２学年以上継続して学校教育を受け、１２年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む）を平成２５年４月１日から平成２７年３月３１日までに卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者

②日本の高等学校若しくは中等教育学校を平成２７年３月３１日までに卒業（修了）見込みの者で、中学校・高等学校を通じて３年以上外国の学校で教育を受け、かつ日本の高等学校若しくは中等教育学校後期課程の在籍期間が２年未満の者

③次のいずれか一つを平成２５年４月１日以降に外国において取得した者で、平成２７年３月３１日までに１８歳に達している者
（ア）スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者
（イ）ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者
（ウ）フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者

（注）①及び②において、外国に設置された教育機関であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在籍した者については、その期間は、外国において学校教育を受けたものとはみなしません。</td></tr>
<tr><td>選抜方法</td><td colspan="7">大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、提出された出願書類及び大学が実施する小論文、面接の結果を総合して選抜する。</td></tr>
<tr><td>出願期間</td><td colspan="7">平成２６年１１月　１日（土）～１１月１０日（月）</td></tr>
<tr><td>選抜期日</td><td colspan="7">平成２６年１１月２９日（土）</td></tr>
<tr><td>合格発表日</td><td colspan="7">平成２６年１２月　５日（金）
※　学内掲示板、本学ホームページに合格者の受験番号を発表するとともに、経済学部は受験者全員に対して合否の通知書を、国際情報学部、看護栄養学部は合格者に対して合格通知書を発送する。</td></tr>
<tr><td>そ　の　他</td><td colspan="7"></td></tr>
</table>

（３）社会人

<table>
<tr><td>実施学部</td><td colspan="3">経　　済</td><td colspan="2">国際情報</td><td colspan="2">看護栄養</td></tr>
<tr><td>学　科　名</td><td>経済</td><td>地域政策</td><td>流通･経営</td><td>国際交流</td><td>情報メディア</td><td>看　　護</td><td>栄養健康</td></tr>
<tr><td>募集人員</td><td>若干名</td><td>若干名</td><td>若干名</td><td>若干名</td><td>若干名</td><td>若干名</td><td>若干名</td></tr>
<tr><td>出願要件</td><td colspan="7">平成２７年３月３１日までに２３歳に達し、次の①～③のいずれかに該当する者で、出願日現在、社会人として認められる者。ただし、経済学部は④にも該当する者。

【経済学部・国際情報学部・看護栄養学部】

①高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者

②通常の課程による１２年の学校教育を修了した者

③学校教育法施行規則（昭和２２年文部省令第１１号）第１５０条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

【経済学部】
④社会人経験を５年以上有する者（ただし、定時制、夜間、通信制高等学校以外の学校の在学期間は、社会人の経験に含めない）</td></tr>
<tr><td>選抜方法</td><td colspan="7">大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、提出された調査書等の出願書類及び大学が実施する小論文、面接の結果を総合して選抜する。</td></tr>
<tr><td>出願期間</td><td colspan="7">平成２６年１１月　１日（土）～１１月１０日（月）</td></tr>
<tr><td>選抜期日</td><td colspan="7">平成２６年１１月２９日（土）</td></tr>
<tr><td>合格発表日</td><td colspan="7">平成２６年１２月　５日（金）
※　学内掲示板、本学ホームページに合格者の受験番号を発表するとともに、経済学部は受験者全員に対して合否の通知書を、国際情報学部、看護栄養学部は合格者に対して合格通知書を発送する。</td></tr>
<tr><td>そ　の　他</td><td colspan="7"></td></tr>
</table>

（4）私費外国人留学生

<table>
<tr><td>実施学部</td><td colspan="3">経　　済</td></tr>
<tr><td>学科名</td><td>経　　済</td><td>地域政策</td><td>流通・経営</td></tr>
<tr><td>募集人員</td><td>若干名</td><td>若干名</td><td>若干名</td></tr>
<tr><td>出願要件</td><td colspan="3">日本の国籍を有しない者で、次の資格・要件をすべて満たしている者

①次の（ア）～（ウ）のいずれかに該当する者で平成２７年３月３１日までに１８歳に達する者
（ア）外国において学校教育における１２年の課程を修了した者（平成２７年３月３１日までに修了見込みの者を含む）又はこれに準ずる者

（イ）文部科学大臣の指定した次のいずれかの者
ⅰ．スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者
ⅱ．ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者
ⅲ．フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者
ⅳ．外国人を対象に教育を行うことを目的として日本において設置された教育施設であって、その教育活動等について、文部科学大臣が指定する国際的な評価団体（ＷＡＳＣ、ＡＣＳＩ、ＣＩＳ）の認定を受けたものに置かれる１２年の課程を修了した者及び平成２７年３月３１日までに修了見込みの者

（ウ）本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

②独立行政法人日本学生支援機構が平成２６年６月及び１１月に実施する日本留学試験を受験した者</td></tr>
<tr><td>選抜方法</td><td colspan="3">出願書類、日本留学試験、及び大学が実施する小論文、面接の成績により総合的に選抜する。
日本留学試験の利用科目については下記の表のとおりとする。
<table><tr><th>利用科目</th><th>試験の成績</th><th>出題言語</th></tr><tr><td>日本語、
数学（コース１又はコース２）、
理科又は総合科目</td><td>成績要件は特に設けない</td><td>日本語</td></tr></table>※　ただし、合否判定には、各科目の素点を用いる。</td></tr>
<tr><td>出願期間</td><td colspan="3">平成２６年１１月　５日（水）～１１月１３日（木）</td></tr>
<tr><td>選抜期日</td><td colspan="3">平成２６年１２月　９日（火）</td></tr>
<tr><td>合格発表日</td><td colspan="3">平成２７年　１月　９日（金）
※　学内掲示板、本学ホームページに合格者の受験番号を発表するとともに、受験者全員に対して合否の通知書を発送する。</td></tr>
<tr><td>そ　の　他</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>実施学部</td><td colspan="2">国　際　情　報</td></tr>
<tr><td>学　科　名</td><td>国 際 交 流</td><td>情報メディア</td></tr>
<tr><td>募集人員</td><td>若干名</td><td>若干名</td></tr>
<tr><td>出願要件</td><td colspan="2">日本の国籍を有しない者で、大学において教育を受ける目的をもって入国している者又は入国しようとする者で、次の資格・要件をすべて満たしている者

①次の（ア）～（ウ）のいずれかに該当する者で平成２７年３月３１日までに１８歳に達する者
（ア）外国において学校教育における１２年の課程を修了した者（平成２７年３月３１日までに修了見込みの者を含む）又はこれに準ずる者
（イ）文部科学大臣の指定した次のいずれかの者
ⅰ．スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者
ⅱ．ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者
ⅲ．フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者
ⅳ．外国人を対象に教育を行うことを目的として日本において設置された教育施設であって、その教育活動等について、文部科学大臣が指定する国際的な評価団体（ＷＡＳＣ、ＡＣＳＩ、ＣＩＳ）の認定を受けたものに置かれる１２年の課程を修了した者及び平成２７年３月３１日までに修了見込みの者
（ウ）本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

②独立行政法人日本学生支援機構が実施する平成２５年度又は平成２６年度の日本留学試験を受験した者で、次の要件に該当する者
<table>
<tr><th>学科</th><th>利用科目</th><th>試験の成績</th><th>出題言語</th></tr>
<tr><td>国際交流</td><td>日本語、
数学（コース１又はコース２）、
総合科目</td><td>成績要件は特に設けない</td><td>日本語</td></tr>
<tr><td rowspan="3">情報メディア</td><td>日本語</td><td>２５０点以上</td><td>日本語</td></tr>
<tr><td>数学（コース１又はコース２）</td><td>１２０点以上</td><td rowspan="2">日本語又は英語</td></tr>
<tr><td>総合科目</td><td>１２０点以上</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>選抜方法</td><td colspan="2">出願書類、日本留学試験の結果、大学が実施する筆記試験【国際交流学科（小論文）のみ実施】及び面接の結果を総合して選抜する。</td></tr>
<tr><td>出願期間</td><td colspan="2">平成２７年　１月　９日（金）～　１月１６日（金）</td></tr>
<tr><td>選抜期日</td><td colspan="2">平成２７年　２月２５日（水）</td></tr>
<tr><td>合格発表日</td><td colspan="2">平成２７年　３月　５日（木）
※　学内掲示板、本学ホームページに合格者の受験番号を発表するとともに、合格者に対して合格通知書を発送する。</td></tr>
<tr><td>そ　の　他</td><td colspan="2"></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>実施学部</td><td colspan="2">看　護　栄　養</td></tr>
<tr><td>学　科　名</td><td>看　　護</td><td>栄養健康</td></tr>
<tr><td>募集人員</td><td>若干名</td><td>若干名</td></tr>
<tr><td>出願要件</td><td colspan="2">日本の国籍を有しない者で、大学において教育を受ける目的をもって入国している者又は入国しようとする者で、次の資格・要件をすべて満たしている者

①次の（ア）～（ウ）のいずれかに該当する者で平成２７年３月３１日までに１８歳に達する者
（ア）外国において学校教育における１２年の課程を修了した者（平成２７年３月３１日までに修了見込みの者を含む）又はこれに準ずる者
（イ）文部科学大臣の指定した次のいずれかの者
ⅰ．スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者
ⅱ．ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者
ⅲ．フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者
ⅳ．外国人を対象に教育を行うことを目的として日本において設置された教育施設であって、その教育活動等について、文部科学大臣が指定する国際的な評価団体（ＷＡＳＣ、ＡＣＳＩ、ＣＩＳ）の認定を受けたものに置かれる１２年の課程を修了した者及び平成２７年３月３１日までに修了見込みの者
（ウ）本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

②独立行政法人日本学生支援機構が実施する平成２５年度又は平成２６年度の日本留学試験を受験した者で、次の要件に該当する者

<table>
<tr><th>学科</th><th>利用科目</th><th>試験の成績</th><th>出題言語</th></tr>
<tr><td>看護</td><td>日本語、
数学（コース１又はコース２）、
理科（化学、生物）</td><td>成績要件は特に設けない</td><td>日本語</td></tr>
<tr><td>栄養健康</td><td>日本語、
理科（化学、生物）</td><td>成績要件は特に設けない</td><td>日本語</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>選抜方法</td><td colspan="2">出願書類、日本留学試験の結果、大学が実施する筆記試験【栄養健康学科（化学）のみ実施】及び面接の結果を総合して選抜する。</td></tr>
<tr><td>出願期間</td><td colspan="2">平成２７年　１月　９日（金）～　１月１６日（金）</td></tr>
<tr><td>選抜期日</td><td colspan="2">平成２７年　２月２５日（水）</td></tr>
<tr><td>合格発表日</td><td colspan="2">平成２７年　３月　５日（木）
※　学内掲示板、本学ホームページに合格者の受験番号を発表するとともに、合格者に対して合格通知書を発送する。</td></tr>
<tr><td>そ　の　他</td><td colspan="2"></td></tr>
</table>

7　アドミッション・オフィス入試（ＡＯ入試）

実施学部	国　際　情　報	
学　科　名	国 際 交 流	情報メディア
募集人員	８名	５名
出願要件	次の①及び②のいずれにも該当する者 ①本要項６ページ５一般入試（１）出願資格①～⑧のいずれかに該当する者 ②本学の教育内容を十分理解したうえで、本学で学ぶことを強く希望し、合格した場合には入学することを確約できる者 国際交流学科への出願者は、志望理由書と第２次選考の面接について、英語分野・国際関係分野・比較文化分野・中国語分野の４つの分野の中から選択する必要があります。 （ア）英語分野・国際関係分野・比較文化分野を選択する者については、次のｉ．～ⅳ．のいずれかに該当する者 ｉ．実用英語技能検定（英検）２級以上 ⅱ．TOEIC 公開試験スコア５００点以上 ⅲ．TOEFL iBT 試験スコア５１点以上 ⅳ．TOEFL PBT 試験スコア４７０点以上 （イ）中国語分野を選択する者については、中国語、及び中国の文化、社会に強い関心を持ち、大学卒業後、中国語を生かした職業に就きたいと思っている者で、次のｉ．～ⅲ．のいずれかに該当する者 ｉ．中国語検定（中検）準４級以上を有する者 ⅱ．旧 HSK（２００９年度以前受験）１級、新 HSK（２０１０年度以降受験）３級以上を有する者 ⅲ．TECC 公開試験スコア２５０点以上を有する者	
選抜方法	大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、提出された自己推薦書等の出願書類及び大学が実施する小論文及び面接の結果を総合して合格者を決定する。 （１）第１次選考：出願時に提出された書類（自己推薦書等）により選考を行う。 （２）第２次選考：第１次選考の合格者に対し、小論文及び面接を課し、出願時に提出された書類の内容を含めて総合的に判定する。	
出願期間	平成２６年　９月１８日（木）～　９月２６日（金）	
選抜期日	【第２次選考】　平成２６年１０月２５日（土）	
合格発表日	【第１次選考】　平成２６年１０月１０日（金） ※　志願者全員に対して、選考結果通知書を発送する。	
	【第２次選考】　平成２６年１０月３１日（金） ※　学内掲示板、本学ホームページに合格者の受験番号を発表するとともに、合格者に対して合格通知書を発送する。	
そ　の　他		

８　調査書の提出について

高等学校生徒指導要録の保存期間（入学、卒業等の学籍に関する記録（各教科・科目等の修得単位数の記録を含む。）については卒業後 20 年、指導に関する記録については卒業後５年。）が経過したもの及び廃校・被災その他の事情により調査書が得られない場合には学生支援課学生グループに申し出てください。

９　身体に障害のある入学志願者の受験特別措置

身体に障害のある入学志願者で、受験上又は修学上特別な配慮を希望する者は、出願期間前のできるだけ早い時期に学生支援課学生グループに申し出てください。

なお、必要な場合は、本人又はその立場を代弁できる出身学校関係者との面接や医師の診断書等の提出をお願いすることがあります。

10　個別入学資格審査について

学校教育法施行規則第１５０条第７号（下記の入学資格審査の対象者に該当する者）により、本学の入学者選抜試験に出願を希望する者については、事前に本学の入学資格審査を受け、認定された場合に限り出願を認めるものとします。

なお、入学資格審査の申請手続等の詳細については、学生支援課学生グループへお尋ねください。

（１）入学資格審査の対象者

平成２７年３月３１日までに１８歳に達する者（社会人特別選抜は２３歳）で次のいずれかに該当する者

①高等学校段階を有する外国人学校を卒業した者又は平成２７年３月卒業見込みの者でＡＯ入試、一般入試又は私費外国人留学生特別選抜を志願する者

②中学校卒業者で、各種の学校等における学習歴及び社会における実務経験等が、高等学校卒業と同等以上であることを客観的に確認できる者で、ＡＯ入試、一般入試、又は社会人特別選抜を志願する者

（２）申請期間

<table>
<tr><th>選抜区分</th><th colspan="2">区　　分</th><th>申請期間</th></tr>
<tr><td>ＡＯ入試</td><td colspan="2">－</td><td>平成２６年　９月　８日までに必着</td></tr>
<tr><td rowspan="3">特別選抜</td><td colspan="2">社会人特別選抜</td><td>平成２６年１０月１４日までに必着</td></tr>
<tr><td rowspan="2">私費外国人留学生特別選抜</td><td>経済学部</td><td>平成２６年１０月３１日までに必着</td></tr>
<tr><td>国際情報学部
看護栄養学部</td><td>平成２６年１２月１２日までに必着</td></tr>
<tr><td rowspan="2">一般入試</td><td colspan="2">大学入試センター試験出願の際、本学への入学を希望する者</td><td>平成２６年　９月１２日までに必着</td></tr>
<tr><td colspan="2">大学入試センター試験出願の際、他大学から入学資格認定を受けた者で、その後本学への入学を希望する者</td><td>平成２７年　１月１９日までに必着</td></tr>
</table>

11　入試情報の開示について

平成２７年度入試情報を開示します。詳細については、学生募集要項に掲載します。

12　学生募集要項の請求方法等

（1）問い合わせ先

経済学部	国際情報学部・看護栄養学部
〒８５８－８５８０ 長崎県佐世保市川下町１２３番地 長崎県立大学　佐世保校 学生支援課学生グループ Tel　０９５６－４７－５７０３ Fax　０９５６－４７－４６１６	〒８５１－２１９５ 長崎県西彼杵郡長与町まなび野１丁目１番１ 長崎県立大学　シーボルト校 学生支援課学生グループ Tel　０９５－８１３－５０６５ Fax　０９５－８１３－５２２２

（2）学生募集要項の配布時期

種　　別		配布時期（予定）	配布方法
ＡＯ入試		平成２６年　７月上旬から	郵送又は大学の窓口
特別選抜	推薦入試	平成２６年　９月上旬から	郵送、大学の窓口 又は高等学校を通じて配布
	帰国子女	平成２６年　９月中旬から	郵送又は大学の窓口
	社　会　人		
	私費外国人留学生		
一般入試		平成２６年１１月中旬から	郵送又は大学の窓口

（3）請求方法

①大学のホームページから請求する場合

大学のホームページから直接、テレメールによる資料請求ができます。
詳しくは、長崎県立大学ホームページ（http://sun.ac.jp/）をご覧ください。

②テレメール（２４時間受付）で請求する場合

（ア）インターネット（携帯電話・パソコン）又は自動音声応答電話をご利用ください。

インターネット（携帯電話・パソコン）の場合		自動音声応答電話の場合
	http://telemail.jp パソコン、携帯電話各社の共通アドレスです。	ＩＰ電話 ０５０－８６０１－０１０１
バーコード ※　携帯電話ならバーコードを読み取るだけでアクセスできます。		

※　一般電話回線からの IP 電話への通話料金は日本全国どこからでも３分毎に約１１円です。

（イ）資料請求番号６桁をプッシュ又は入力する。

資料名		資料請求番号	（＋大学案内）	参考送料	（＋大学案内）
大学案内		５６７５５２		３００円	
一般入試 募集要項	経済学部	５８７５５２	５４７６５２	２１５円	３００円
	国際情報学部	５８７５８２	５８７６８２	２１５円	３００円
	看護栄養学部	５６７５７２	５６７５８２	２１５円	３００円
ＡＯ入試 募集要項	国際情報学部	５８７５７２	５４７６７２	２１５円	３００円
推薦入試 募集要項	経済学部	５６７５９２	５８７５９２	２１５円	３００円
	国際情報学部	５４７６９２	５４７６４２	２１５円	３００円
	看護栄養学部	５６７５４２	５８７５４２	２１５円	３００円

※　別途払込手数料が必要となります。

（ウ）あとは音声ガイダンス又は画面に従ってください。

（ア）、（イ）に関する注意事項

・発送開始日以前に請求された資料は予約受付となり、発送開始日になりましたら一斉に発送されます。その際は、発送開始日の翌日から３日後に資料が届きます。

・発送開始日以降に請求された資料は請求してから２～３日後に届きます。ただし、受付日時や地域、配達事情によっては、４日以上かかる場合もあります（お届けまでの日数は請求日の翌日を起算日とします）。なお、５日以上経っても届かない場合は、テレメールカスタマーセンターへお問い合わせください。

・送料はお届けする資料に同封されている支払方法に従い、表示料金をお支払いください。支払い方法は「郵便局・ゆうちょ銀行での払込み」「コンビニ支払い」「ケータイ払い（携帯電話通話料金と一緒のお支払い）」がご利用になれます。なお、支払いに際して手数料が別途必要になります（手数料は支払い方法によって異なります）。送料は資料の重量変更により変更になる場合がありますので、予めご了承ください。

・自動音声応答電話によるご請求の場合、住所・名前の録音時は、ゆっくりはっきりとお話しください。録音された音声が不鮮明な場合は、電話で住所・名前を確認することがありますので、電話番号は必ずご登録ください。

・請求時期によっては資料がなくなり、早期終了する場合がありますので予めご了承ください。

・一般入試学生募集要項は、大学のホームページからの請求に限り、通常受付終了後でも引き続きテレメール速達対応（レターパック）にて請求受付を行います。詳しくは大学のホームページでご確認ください。

※　（ア）～（ウ）の請求方法についてのお問い合わせ先
テレメールカスタマーセンター　ＴＥＬ（０５０）８６０１－０１０２（９：３０～１８：００）

③郵便局で請求する場合（一般入試学生募集要項のみ１０月より受付開始）

１０月より郵便局（簡易郵便局除く）に設置される「国公私立大学・短期大学及び通信教育課程、大学校募集要項（願書）請求申込書」（郵便局用願書請求カタログ）に必要事項を記入のうえ、送料と払込手数料１３０円を添えて、ゆうちょ銀行又は郵便局の貯金窓口で申し込んでください。

④直接、大学に請求する場合

次の要領で、経済学部は佐世保校学生支援課学生グループへ、国際情報学部、看護栄養学部はシーボルト校学生支援課学生グループへ郵送にて請求してください。

（ア）返信用封筒（角型２号：縦 332 ㎜×横 240 ㎜）を用意する。

（イ）返信用封筒には郵便切手（上記（イ）「参考送料」参照）を貼付し、受取人の郵便番号・住所・氏名を明記する。

（ウ）大学への送付用封筒と郵便切手を準備し、送付用封筒の表に「○○○○募集要項及び大学案内請求」と朱書で明記する。

（エ）準備ができた返信用封筒を折りたたみ、送付用封筒に入れて、投函する。

UNIVERSITY OF NAGASAKI · FOUNDED 2008 ·